

病害虫発生予察情報

2月月報

平成 31 年 3 月 15 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2019年 2月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	10.9	1.1	0.5	1.3	5.3	0.9	11	83	58.4	96
中旬	10.9	0.6	0.9	0.8	5.7	0.6	1	4	45.5	76
下旬	12.9	1.9	4.1	3.4	8.6	2.9	19	111	41.5	84
平均	11.5	1.2	1.6	1.6	6.4	1.4				
合計							31	57	145.4	86

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

<天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上・下旬は高く、中旬は平年並だった。
- ◎ 降 水 量：上・下旬は多く、中旬は少なかった。
- ◎ 日照時間：上・中・下旬すべて少なかった。

上旬：前半は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて、晴れの日が多くなった。後半は周期的な低気圧の通過や冬型の気圧配置となり、短い周期で天気に変化した。

中旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。前半は寒気の影響で気温が低くなったが、後半は暖気が流れ込んだため、気温が高くなった。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨となった。

2 作物生育概況

（1）野菜類

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：ニンジン、ハクサイ、ネギでは、暖冬の影響で例年に比べ葉の傷みは少なかった。ホウレンソウ、コマツナは前半の乾燥により生育は停滞したが、後半は暖かかったため生育は進んだ。

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：サヤエンドウで立枯病の発生が多かった。

母島：トマトでハモグリバエ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。